

船舶インシデント調査報告書

令和2年1月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和元年8月27日 10時30分ごろ
発生場所	北海道苫小牧市苫小牧港南方沖 苫小牧灯台から真方位186° 12.1海里付近 （概位 北緯42° 25.3′ 東経141° 32.6′）
インシデントの概要	プレジャーボート ^{マックイーン} McQueenは、航行中、船外機が停止して始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和元年9月11日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート McQueen、2.6トン 200-39738北海道、個人所有 ガソリン機関（船外機）、4サイクル、出力84.6kW、回転数毎分5,500、4気筒、ボア86mm、使用燃料ガソリン
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り場に向けて航行中、船外機が停止したので、船長が運転を試みたが始動できず、運航不能と判断してマリーナに救助を要請し、118番通報した後、巡視艇及び同マリーナ手配のプレジャーボートにえい航された。 船外機は、本インシデント後、機関修理業者が点検したところ、燃料噴射量、発火時機等を制御する電子制御装置（以下「本件制御装置」という。）に作動不良を生じているのが判明し、本件制御装置が交換されて復旧された。
分析	本船は、航行中、船外機の本件制御装置に作動不良を生じたことから、船外機が停止して始動できなくなり、運航不能となったものと推定されるが、本件制御装置に作動不良を生じた状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、本船が、航行中、船外機の本件制御装置に作動不良を生じたため、船外機が停止して始動できなくなったことにより発生したものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船外機の電子制御装置は、適宜、専門業者（船外機製造業者）に

	より点検されることが望ましい。
--	-----------------